

科目名		コーディネート実習Ⅱ			
担当教員		清水彩子	実務授業の有無	有	
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2年	開講時期	後期
必修・選択	選択	授業形式	実習	時間数	96h
授業概要、目的、授業の進め方	資格取得のための復習、模擬テストを行い、知識の定着を図る。2次試験に必要なプレゼンテーション力は、実務において最も重要なスキルとなる。インテリアコーディネーターとしての立場を理解し、実務フローやコーディネート力の向上を目指す。				
学習目標 (到達目標)	1次試験、2次試験突破、実務対応の技術の習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	公式ハンドブック、過去問題、すまいの寸法				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1次対策復習 ①各分野の要点をまとめ、ノートを作成する。		方法：教科書、過去問題等を使い1次試験対策を行う。 ①の項目を理解する。 準備学習：教科書、過去問題等の予習		
2	一次対策 ①模擬試験、過去問題		方法：教科書、過去問題等を使い1次試験対策を行う。 ①の項目を理解する。 準備学習：教科書、過去問題等の予習		
3	2次対策 ①模擬試験、過去問題		方法：教科書、過去問題等を使い2次試験対策を行う。 ①の項目を理解する。 準備学習：教科書、過去問題等の予習		
4	ロールプレイング グループに分かれて、実践形式で仕事の流れをつかむ ①マンションのインテリアコーディネート		方法：グループに分かれ、クライアントとコーディネーターの立場になり、ロールプレイングを実施し、①の項目を理解する。		
5	プレゼンテーション		方法：グループごとに、作成したプランについてのプレゼンテーションを行う。プレゼンシートの訴求力やプランのコーディネート力について講評する。		
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点 20%	課題 30%	評価テスト 50%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			インテリアコーディネーター一次・二次試験の対策を中心に行い、資格取得を目指し取り組む。ロールプレイングでは、インテリアコーディネーターの立場を理解し、実務に活かせるプレゼンテーション技法とコーディネート力を身に付ける。		
実務経験教員の経歴		建築会社設計室2年勤務、フリー実務19年、資格対策講師17年			